

第80回定期演奏会批評

音楽の友

ONGAKU NO TOMO

2012年 4月号

Concert Reviews

オーケストラ
東京ニューシテイ管弦
楽団(第80回)

東京ニューシテイ管の常任指揮者
内藤彰の師でもあった山田一雄の1
944年作の管弦楽曲《おほむたか
ら》とマーラー「交響曲第5番」と
いつのがこの日のプログラムであ
る。なお、マーラーは、02年刊のペ
ーターズによる新校訂版によるもの
であるという。この東西ふたりの作
曲家＝指揮者の関連については、そ
の作品を聴くことによっても明らか
と言えようが、それが、人それぞれ
に異なることも事実であろう。

山田の第二次大戦終結の前年に書
かれた《おほむたから》は、いわば
『すめらぎ』の玉としての国民を歌
いあげたものともいえ、まさにその
時代ならではの国民讃歌といっても
よいのかもしれない。作曲者がそな
える多様な要素と思いを、聴く者に
十分に伝えるためには、やや散漫な
感も残るが、もう一つ読みの深さも
求めたい。せっかくの機会であるだ
けに惜しまれる。マーラーは、版を
かえても、特にスタイルが代わった
かの感はない。スタンダードな第5
交響曲が聴かれたが、このオーケス
トラとしては、弦楽群の響きが、よ
り充実され磨かれてゆくならば、演
奏がさらに魅力を増すことになる
う。彼らには、まだ大きな可能性が
備わっているだけに期待したい。2
月3日・東京オペラシテイ

●藤田由之